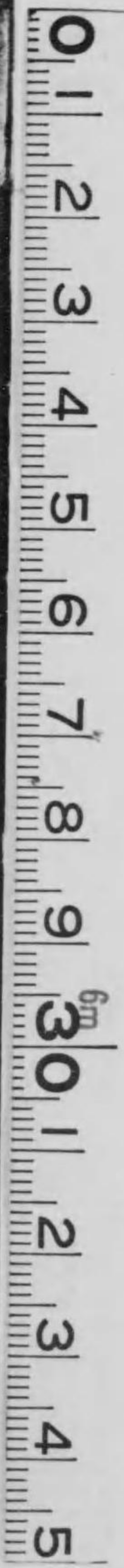


289  
4



始



289  
4

財團  
法人  
下村育英財團  
大正八年度  
事務概要

289-4



財團 下村育英財團事務概要目次

○寫真

設立者

理事監事

大正八年給貸費生

○大正八年度事務概要

緒言

給貸費生

文庫

農場經營

庶務雜件

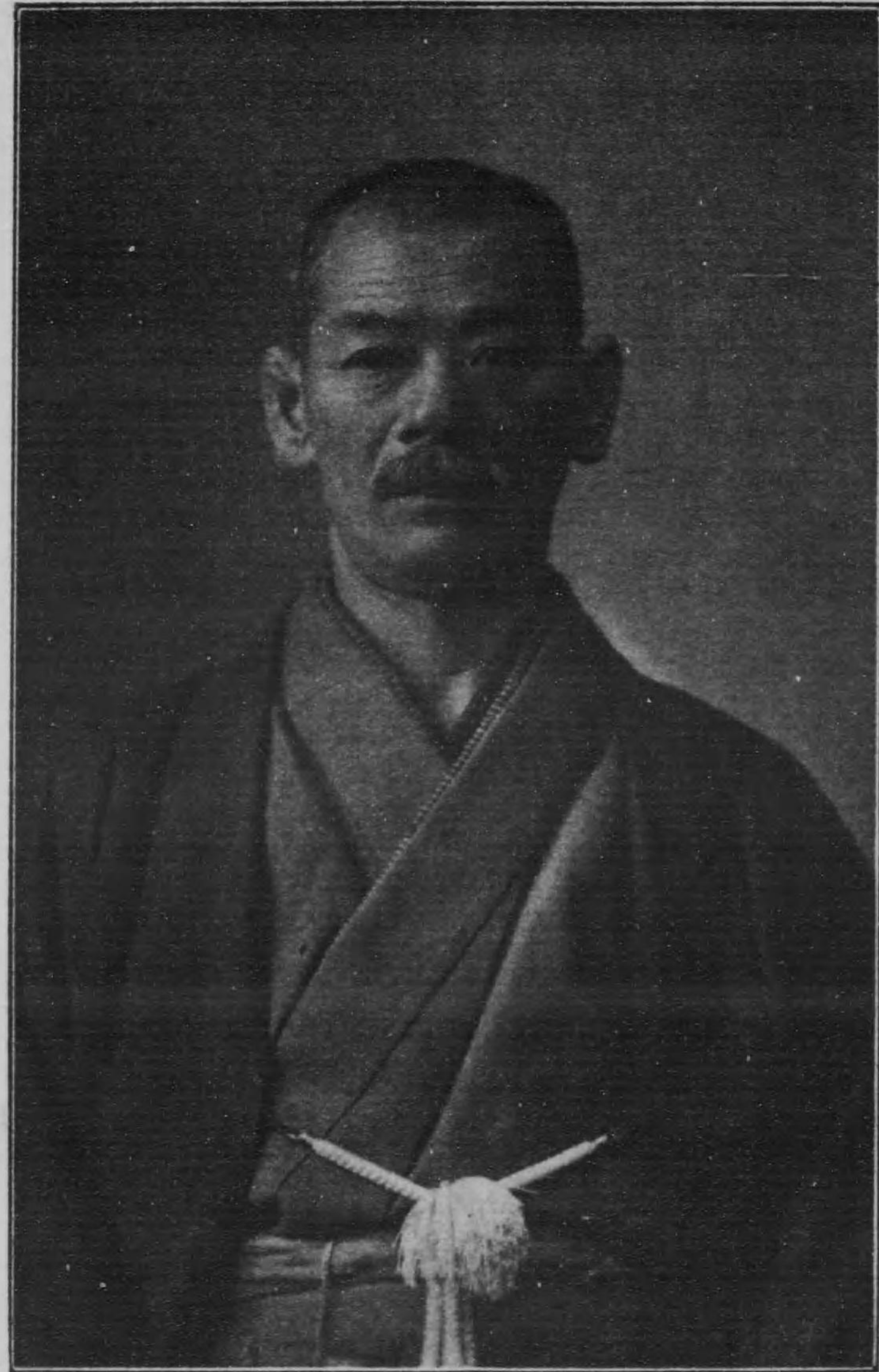
○大正九年度歲入歲出豫算

寄贈本



一 四 八 二 十 十 三 一

設 立 者



下 村 長 藏

◎ 大正九年度事業計畫概要

給貸費生

農場經營

文庫

◎ 大正八年度歲入歲出決算

◎ 財產目錄

◎ 貸借對照表

◎ 財團下村育英財團寄附行為

◎ 同 上 附屬規程

◎ 別途積立金規定

◎ 下村文庫細則

二

三十一

三十一

三十二

三十六

四十三

四十五

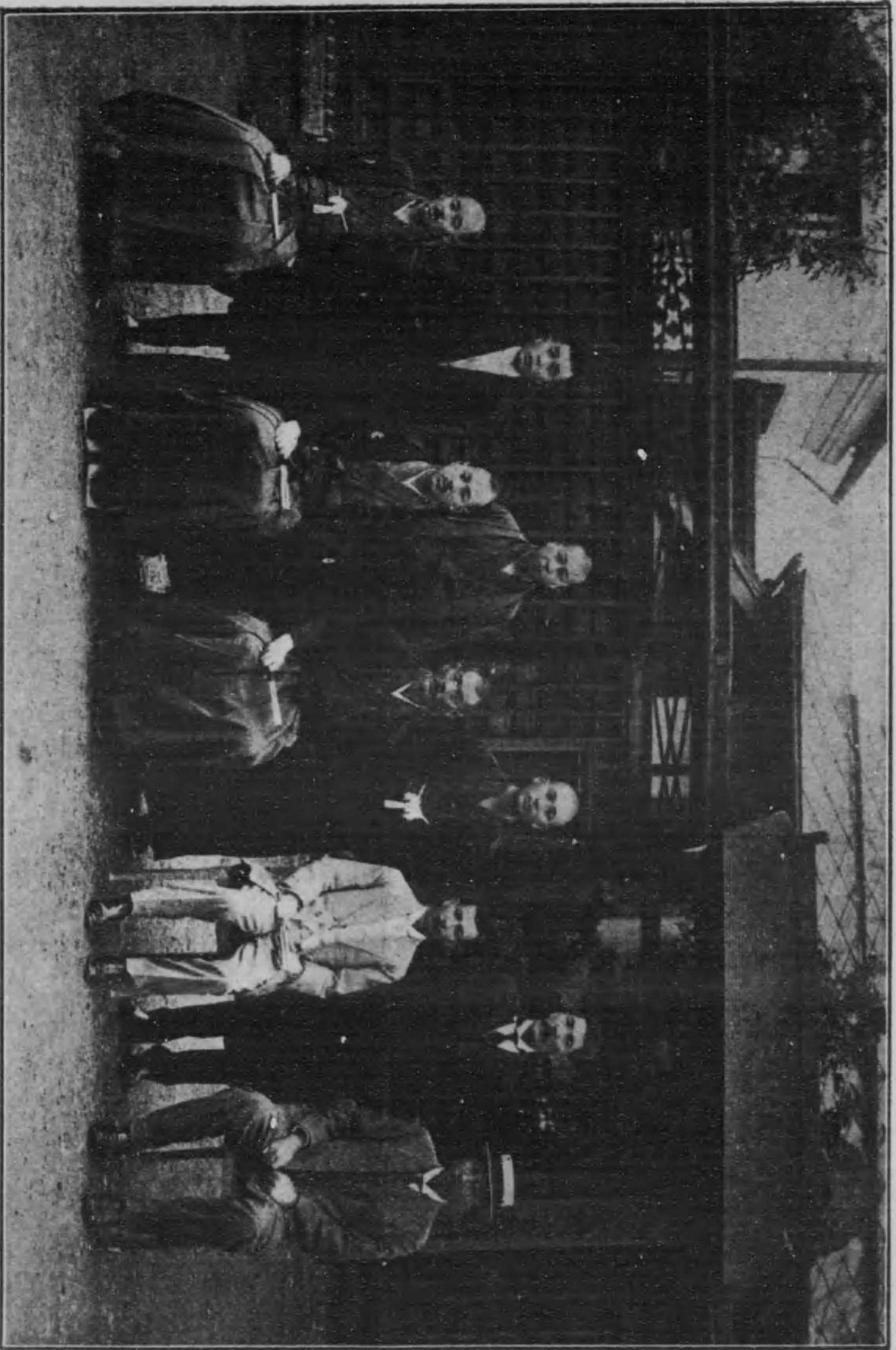
四十六

五十二

六十

六十一

財團英育村下役員團員



右列前  
 右列後  
 理事元 杉本 勇治  
 理事 奥山 泰千  
 理事 山本 彌又  
 理事 入山 知一  
 理事 助之正 村下  
 理事 藏長 村下  
 理事 井内 二歡  
 理事 笠原 定藏  
 理事 原 琢磨



元 理 事  
 本 山 又 彌



新 任 理 事  
 元 監 事  
 市 村 龜 松



新 任 監 事  
 杉 本 勇 治

大正八年貸費生



高野重一



牧克己

大正八年貸費生



古澤恭一郎



村井彌三治



高田玉江



今田清二

大正八年給貸費生



成田清助



森谷秀亮



大崎基義



阿部明治郎

大正八年度事務概要

近代稀ニ觀ル特志者下村長藏氏ニ因リテ設立セラレタル財團法人下村育英財團ハ創立以來何等ノ蹉跌ナク序ヲ逐フテ事業其緒ニ就キタルノミナラス豫定以上ノ効果ヲ實際ニ現出シツ、茲ニ第二年度ニ入ルヲ得タルハ洵ニ多幸ナリト謂フヘシ本財團役員ハ其初年度ニ於テ就任シタルモノ、内理事本山又彌氏家事ノ都合ニヨリ郷里兵庫縣ニ歸ラル、爲メ辞任セラレタルヲ以テ設立者ハ之レカ補充ニ監事市村龜松氏ヲ推舉シ其承諾ヲ得テ全氏理事ニ就任セラレタル結果新タニ杉本勇治氏ヲ監事ニ依囑スル處アリ同氏ノ承諾ヲ得テ役員全部滿チ一人ノ缺員ナシ抑モ本財團施設事業ノ經營畫策ニ關スル事項ニ付テハ必ス役員全部ノ決議ヲ經テ實行スヘキ事ニ規定シタルヲ以テ毎月一回日ヲ定メテ例會ヲ開キ常務理事ニ依リテ提案スル處ヲ附議シ以テ其大綱ニ錯誤ナキヲ期スルト共ニ慎重其内容ヲ詳カニシ毫モ支吾ナカラシム之ヲ以テ學生ノ選抜圖書ノ購入其他農場經營基金ノ運用ニ至ルマテ役員全部一トシテ知ラサルナシ隨テ本財團ハ意見ノ阻隔スルモノナク最モ圓滿ニ事業ヲ遂行シ些ノ溢



滞ナシ蓋シ下村長藏氏ノ至徳ニ依ル

本年度事業トシテハ豫定ノ學生ヲ收容シ各其志ス學科ヲ研究セシムルモノ拾名之ヲ第一年  
度分ト合算スルキハ貳拾名トナリ其成績孰レモ良好ナリ圖書ハ新タニ隨時購入時世ニ遅レ  
サラン事ヲ期スルモ未タ閱覽者著シキ増加ナキヲ憾ミトス唯圖書ノ閱覽室新築計畫ハ其敷  
地豫定個處ニ故障ヲ生シタル爲メ事業着手ニ至ラサルノミナラス圖書館敷地トシテ好適ノ  
場所ハ容易ニ見出シ難キヲ以テ尙深ク調査考究スルノ要ヲ生シ遂ニ本年度ハ中止スルノ止  
ムナキニ終ル財團所屬ノ土地ニシテ普通財産タル十勝農場ハ其地ニ製糖會社新設ノ爲メ買  
收申込ニ應シ千八百六十七町四反七畝二十九歩ヲ賣却ニ決シ其代金貳拾萬六千九百五十六  
圓四十八錢ヲ受領セリ其結果十勝農場經營方法ヲ廢止シ漸次此方面ノ殘地積ハ賣却ノ上基  
本財産ニ繰入ル、ノ策ヲ樹テ以テ其安固ヲ圖ルコト、セリ而シテ一方基本財産ニ屬スルベ  
ーバン農場ハ倍經營ノ歩武ヲ進メ排水ニ灌溉ニ將タ堤防護岸ニ至ルマテ遺漏ナキヲ期シ全  
時ニ造成シ得ラル、個處ハ勞費ヲ投シテ水田ト爲シ全然不適當ノ地ハ植樹ヲ爲シ以テ將來  
ノ財源ニ充ツル等着々企畫スル所アリシカ不幸本年度ハ近年稀有ノ出水アリ其都度倉沼ベ

ーバンノ兩川氾濫シ爲メニ折角築造ノ堤防護岸モ處ニヨリ全滅シタルモノ又ハ潰裂シタル  
等天災止ムヲ得ストスルモ財團ノ被害少ナカラザリキ隨テ收納スヘキ水田收穫米モ自然減  
殺スルニ至リタルヲ遺憾トス

時局ノ關係ト時代推移ノ結果下村長藏氏寄付ノ不動産ハ漸次價格昂騰シ之ヲ時價ニ換算セ  
ンカ本財團所有ノ動産不動産ハ年度末ニ於テ約七十萬圓ヲ計上スルヲ得ルニ至ル徳孤ナラ  
ストハ眞ニ至言ナラスヤ

本財團基本財産ハ寄附行爲第十四條ニ基ク積立金ト共ニ年々累積スルヲ以テ年所ノ經過ト  
全時ニ倍財政ノ鞏固ヲ加ヘ永遠ニ學生養成圖書閱覽ノ範圍ヲ擴張スルヲ得テ前途實ニ洋々  
タリ若シ夫レ近キ將來ニ於テ本財團養成ノ人材業ヲ卒ヘ社會ニ活躍スルニ至ランカ始メテ  
効果ヲ一般ニ知悉セシメ下村長藏氏ノ至誠ヲ發露スルニ至ラン世上事業多シト雖モ此種希  
望ノ遠大ニシテ崇高ナル他ニ多ク類例ナカルベキカ

設立者下村長藏氏ハ彌強健ニシテ勤儉質素自カラ持シ以テ財團ノ爲メニ幹旋盡力臻ラサル  
ナシ全財産ヲ寄附シテ尙且余力ヲ斯業ニ捧ケラル其高潔ノ意志ハ役員全部ノ深ク感謝措ク



能ハサル處ナリ

茲ニ一班ヲ掲ゲテ之レガ概要トス更ニ其施設セル各事項ニ亘リテハ別ニ項ヲ分チテ記述スベシ

四

### 給 貸 費 生

大正八年度ニ屬スル本財團第二次學生募集ハ大正七年十一月十七日ヲ以テ所定ノ新聞ニ廣告シ以テ其希望者ニ周知セシム而シテ其結果大正八年一月三十一日マテニ申込ヲ爲シタルモノ、内有資格者三十二名ニ達シタルヲ以テ學生部擔任理事ハ其提出ノ書類ニヨリ若クハ關係ノ父兄學校等ニ照會シ其性行ヨリ財力ノ有無體質ノ強弱ニ至ルマテ最モ綿密ニ調査ヲ了シタルヲ以テ財團關係者ハ屢次集會比較考究探査ヲ遂ケ大正八年三月十一日其内ヨリ最モ良好ナルモノ拾名ヲ銓衡シ以テ最後ノ決定ヲ爲シ茲ニ給貸費生ヲ承認セリ本財團學生選抜規程ハ設立當初小學校卒業以上ノ修了者ハ有資格ト定メタルモ其後之ヲ實際ニ徵スルニ小學卒業者ハ身体並ニ學術共ニ未タ遽ニ其價值ヲ評論スルノ域ニ達セサルヲ認メタルヲ以

テ大正八年四月規程ヲ改正シ中學卒業程度ヲ以テ有資格者ノ標準トセリ又是レ事實上止ムヲ得サルニヨル

本年度採用學生中小樽高等商業學校在學村井彌三治ハ學年末ニ於テ不幸病ニ罹リ歸宅療養其結果一ケ年延期トナル昨年度採用ノ奈良女子高等師範學校在學高平タケハ一旦病氣全快シ復校勉學セシニ又々再發大正八年十二月歸宅ノ止ムナキニ至ル全人ハ多少體質ヲ損シタル處アリ或ハ學業研鑽ハ廢絶セサルヘカラサルヤモ亦知ルヘカラス深ク遺憾トス村井彌三治ハ漸次回復遠カラス學業ニ就クモ何等差支ナカルベシ學生ノ体格検査ハ本財團相談役ニシテ當區竹村病院長タル姉齒正雄氏ニ囑託最モ嚴密ノ考査ヲ爲シ苟モ假借スル處ナキニ拘ラス少數者ト雖モ斯ノ如ク病魔ニ冒サル、ニ至ルハ學生自身ハ勿論本財團ニ於テモ深ク遺憾トスル所既往ノ成績ニ顧ミ爾今一層ノ留意ヲ要スルモノト認ム

第一次給貸費生十名ハ（病氣療養者ヲ除ク）孰レモ相當成績ヲ經テ學業進級セシヲ以テ引續學費ヲ交付シツ、アリ未タ卒業社會ニ出動シタルモノナシ

五

給貸費生名簿

氏名	本籍地	在學校名	備考
石持甚作	旭川區宮下通十八丁目左二號	東京高等工業學校	
帖佐猛	河西郡大正村大字賣買村字上賣買西一線九十五番地	小樽高等商業學校	
金澤徳郎	空知郡下富良野村九十五番地	旭川中學校	
金野はつゑ	旭川區三條通十二丁目右四號	旭川高等女學校	
加賀谷修三	秋田市龜ノ丁土手町三番地内ニ	廣島高等師範學校	
本山徳一	旭川區五條通十三丁目右一號	京都工業講習會	
木村進	旭川區五條通十三丁目右五號	北海道帝國大學農科大學實科	
金谷忠次	島牧郡島牧村大字輕臼字飼鹿二番地	上海東亞同文書院商務科	
笹谷貴義	旭川區宮下通三丁目無番地	第三高等學校	
高平タケ	旭川區四條通十一丁目左一號	奈良女子高等師範學校	病氣休學中

高野重一	旭川區一條通二丁目右六號	北海道帝國大學農科大學豫科	
牧克巳	鹿兒島縣熊毛郡上屋久村永田二千八百八十番地	全實科	
今田清二	札幌區北二條西十四丁目八番地	全農科大學豫科	
成田清助	旭川區宮下通十五丁目右六號	全	
村井彌三治	上川郡鷹栖村字近文十五線二十六號	小樽高等商業學校	
高田玉江	旭川區三條通九丁目左十號	東京音樂學校	
森谷秀亮	札幌區苗穂町十四番地	東京帝國大學文學部	
古澤恭一郎	旭川區一條通三丁目左十號	齒科醫學專門學校	
阿部明治太郎	秋田縣平鹿郡横手町山ノ手新町十七番地	京都帝國大學法科大學	
大崎基義	上川郡永山村三百二十六番地	第二高等學校	

文庫

本文庫所藏圖書ノ閱覽者ハ漸次増加ノ傾向アルモ未タ豫期ノ數ニ達セス思フニ斯種事業ハ歲月ニ伴フニアラサレハ其成果得テ期スヘカラサルモノカ

第一年次ハ年ノ央ニ於テ開庫シタルモノナルカ故ニ第二年次ト其増加率ヲ對照スル能ハス依テ僅ニ藏書類別閱覽人員圖書動態ノ狀況ノミニ止ム

本年度圖書購入ハ隨時之ヲ爲シツ、アルモ尙足ラサルモノアリ且一面各地ニ於ケル圖書館ノ實況調査ノ必要アリタルヲ以テ財團役員會ハ理事中ヨリ一名ヲ派遣シ双方併セテ處理スヘシト決議シタルヲ以テ常務理事奥田千春ハ大正八年十月九日出發仙台秋田青森東京等ニ於ケル圖書館ノ實況ヲ視察シ且文部省ニモ出頭事業ニ對スル各種事項ヲ協議スル處アリ全時ニ圖書ノ購入ヲ爲セリ而シテ其種別ハ概ネ通俗的ノ書籍ニシテ專門ニ屬スルモノ少ナシ本財團備付書籍ハ各方面ニ亘リ欠乏セルモノ、ミナルヲ以テ爲シ得ル限り多方面ノ圖書ヲ斟酌スル處アリキ斯克テ大要ノ書籍ハ略取經メタルモ未タ不完全ニシテ尙數年ヲ要スルニ

アラザレハ得テ完シト言フヲ得ス概要ニモ記述セルカ如ク文庫閱覽室ハ元下村氏ノ住宅ナルノ故ニ不便少ナカラス依テ建築ノ計畫ナリシニ支障ヲ生シ着手ニ至ラサリシタメ今尙不便ヲ忍ヒツ、仮用ノ始末ナリ速ニ相當設備ヲ了シ以テ閱覽者ノ利便ヲ増進セシメント苦慮シツ、アリ

本年度ニ於テ各方面ヨリ寄贈ヲ辱ウシタル書籍ノ内其重ナルモノ左ノ如シ茲ニ芳名ヲ錄シテ感謝ノ意ヲ表ス

本山 又 彌 氏

兵庫縣多紀郡篠山町

森谷 秀 一 郎 氏

虻田郡 虻田 村

金 谷 忠 次 氏

上海東亞同文書院

北海道博覽會函館協賛會

鐵道院旭川建設事務所

文 部 省 學 務 局

旭 川 實 業 協 會

下村文庫藏書類別

類	傳記	文藝	教育	語學	歷史	哲學	法律	國策
冊數	二二	五〇〇	四四	二四	五二	二四	二七	八
類	社會	叢書	地理	數學	工業	醫學	神學	宗教
冊數	二六	二〇五	九	三	三	八	二	四
類	隨筆	產業	理學	書目	事彙	其他	計	
冊數	三五	四〇	三	四	八	二、八〇六		

下村文庫閱覽人員及圖書動態

大正八年四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	大正九年一月
閱覽人員	二八五	二八九	五三	三八	三七	五四	二五	二九	二六
圖書動態	三七四	三八〇	八七	六〇	五〇	七四	三三	三三	四七
備考									

	二月	三月	計
	二七	三〇	三三〇
	三五六	三三九	三、九六八
	九	七	二四四
	五二四	四九八	五、七三三

農場經營

本財團所屬農場ノ實況ハ第一年次ニ記述セル處ト差違ナキモ其後十勝農場ニ對スル施設方法ヲ一變シ全時ニ買收申込ニ應シ其大部分ヲ賣却シタル結果十勝農場ハ其實質ニ於テ財團直接ノ經營ヲ要セサルニ至ル依テ本年度ニ於テハ力ヲ専ラ東旭川村ペーバン農場ニ注キ其增收ヲ圖ルト共ニ荒蕪ノ地ヲ拓キ水田ヲ造成シ以テ異日ノ大成ヲ期ス而カモ本年數回ノ出水ニヨリ被害地少ナカラス且築造ノ堤防ヲ破壊シタルモノ柵ヲ覆シタルモノ水制ヲ流失シタルモノ等損害亦多大ナリ之ヲ以テ本農場ニハ最モ堅固ナル堤防護岸ヲ要スルモ其費額莫

大ナルカ故ニ漸ヲ以テ處理セントス試ニ本年ニ於テ措置シタル概數ヲ示サンカ堤防修繕ニ貳千六百三十五圓灌溉溝改修ニ九百八十六圓而シテ其結果ハ氾濫ノ爲メニ一朝ニシテ亡失ス洵ニ遺憾ニ堪ヘサルナリ

本年度造成ノ水田ハ約一町五反歩ニシテ溜池ニ六百餘圓ヲ投シ植樹ニ約千圓ヲ投シタルモ不幸旱魃ニ會シ大半枯損シタルヲ以テ更ニ補植ノ計畫ヲ爲シツ、アリ

ペーバン農場ハ地味肥沃水田ニ好適ナルノ故ニ前途有望ナルモ其地倉沼ペーバン兩川ニ圍繞セラル、ヲ以テ之レカ出水ヲ顧念シ相當防備ヲ施サレハ安全ナリト謂フヲ得ス依テ引續護岸堤防ニハ完成ヲ期スルノ手段ヲ運ヒツ、アリ小作者又財團ノ趣旨ヲ体シ互ニ精勵防備ニ任ス誠ニ得易スカラサル良民ナリ目今農場内ニ居住スルモノ三十二戸内ニ青年會アリ常ニ公益ヲ念トスルヲ以テ財團又無料ニテ土地ヲ貸付シ以テ彼等ノ活動ニ資シ同時ニ激勵シツ、アリ

更ニ進ンテ本農場内高丘地一帶ノ未墾地ヲ開拓シ之ヲ水田ニ造成センカ國利増進ノ一端トナリ併セテ財團ノ財産ヲ増殖スルモノナルヲ以テ開墾ノ方法及灌溉ノ工夫ヲ凝シ既ニ其計

書略成ル第三次事務報告ニハ之レヲ具体的ニ記載スルニ至ルベキカ此地ニシテ水田ニ變ラ  
ンカ農場更ニ大擴張ト言フヘキナリ  
本地ニ接續シ將來彼我犬牙錯綜ノ嫌アル他人ノ所有地介在シ相互不利ナルヲ認メ其地積約  
七町歩ヲ一万四千五百餘圓ニテ買收シ本農場ニ併合セリ前途有望ノ水田地タルハ信シテ疑  
ハサル處ナリ

庶務雜件

年 月 日

件

名

大正八年四月六日 大正八年度事業計畫收支豫算及大正七年度收支決算議定ス

大正八年度給貸費生承認ノ件確定ス

附屬規程中改正之件議定ス

十勝農場土地賣却ニ付價格内定ノ件決定ス

七日 文部大臣及關係官廳ニ附屬規程中改正之件報告ス

十三日 十勝農場土地買受人ヨリ價格協定方申出ニ付役員會ノ意見ヲ諮フ

ペーバン農場小作米賣却ノ件決定ス

二十日 十勝農場土地賣買成立シ手附金トシテ金壹萬五千圓ヲ受領ス

ペーバン農場小作米賣買契約成立シ手附金トシテ金五百圓ヲ受領ス

三十日 文庫敷地トシテ八條通八丁目區有地ヲ旭川區長ヨリ使用方許可書來ル

五月五日 相談役明石孫太郎氏逝去ニ付安西書記ヲシテ吊詞ヲ齎ラシ參列セシ  
メタリ

七日 皇太子殿下御成年式當日ニ付敬意ヲ表シ臨時休業ス

十一日 十勝農場土地處分ノ件經過ヲ役員會ニ報告ス

大正八年度圖書購入ノ方針ヲ定ム

必要ニ應シ女事務員ヲ採用スルノ議ヲ決定ス

ペーバン農場小作米賣買ノ件經過ヲ報告ス

基本財産利殖方法ノ件決定ス

- 十四日 文庫敷地賃貸借契約公正証書作製ス
- 二十日 中村秀雄ヲ雇ニ採用ス
- 廿一日 文部大臣及關係官廳へ大正七年度事務概要ヲ報告ス
- 六月 八日 明石相談役死亡ニ付後任ニ磯部精一氏ヲ囑託ス
- 文庫新築ニ付他地方圖書館ヲ調査參照ト全時ニ圖書購入ノ爲メ理事一名出張スルコトニ決定ス
- 特種積立金ヲ爲スコトニ決定ス
- 十勝農場土地賣却代金ヲ利殖スルノ件決定
- 二十日 陸軍少將小原正治氏外一名來團
- 廿三日 文部省學務局ヨリ全國育英事業施設狀況一冊到達セリ
- 七月 十三日 特種積立金規程確定ス
- 他地方圖書館視察圖書購入ノ爲メ奥田理事出張ノコトニ決ス
- ペーバン農場溜池築造費不足スル場合ハ他ヨリ流用支辨ノ件決定ス

- 八月 一日 安西書記及中村雇ニ特別慰勞金給與ノ件決定ス
- ペーバン農場植樹ハ早魃ノ爲メ成績不良ノ件役員會ニ報告ス
- ペーバン農場水害調査ノ爲メ下村設立者出張ス
- 中村雇辭職願出許可ス
- ペーバン農場ニ新タニ灌溉溝堀鑿ハ測量ノ上施行スルコトニ定ム
- 米穀検査員ニ手當寄付ノ件決定
- ペーバン農場旱魃及水害ニ付應急施設ノ件決定
- 十二日 全 佐々木新重兩世話係水害陳情ノ爲メ來團
- 十三日 本日ヨリ向フ十日間曝書ノ爲メ文庫休庫ス
- 卅一日 天長節ニ付文庫休庫
- 九月 七日 下村設立者奥田理事ペーバン農場水害視察ノ爲メ出張
- ペーバン農場米穀検査員手當寄付ハ常務理事適宜處分スルコトニ決定ス

廿二日 ペーバン農場小作米減免ノ件ニ付新重世話係來團

十月一日 ペーバン農場水害ノ爲メ小作米ノ減免ハ實地ニ臨ミ適當ノ方法ニヨ

リ常務理事處理スルコトニ決定

圖書購入並圖書館調査ノ件役員會ニ於テ圖書ハ通俗的一般必讀ノモ

ノヲ先トシ専門的深遠ノ書籍及洋書ハ後廻トスルコト圖書館ハ青森

仙台秋田金澤新潟東京ヲ視察スルコトニ決ス

ペーバン農場内灌溉溝新設ニ付之レニ付隨シ附近土地買入ノ件決定

ス

上芽室土地賣却ノ件決定ス

三日 下村設立者奥田理事小作米減免實地調査ノ爲メペーバンへ出張

六日 里豊二所有地買得ノ契約ヲ爲ス

尾崎内務部長へ北海道史ノ件照會ス

十二日 上川營林區署へ苗木下付願出ノ處落葉松三千本下付許可書來ル

廿五日 里豊二ヨリ買得ノ土地登記ヲ了ス

廿六日 横山カホリヨリ土地買得ノ契約ヲ爲ス

十一月九日 ペーバン農場内高丘地ヲ水田ニ造成スルトセハ唧筒使用ノ必要アリ

之レカ調査ハ技術者ニ協議スルモノト決定

大正九年度學生募集ハ豫定ノ通十名トスルコト決定ス

特種積立金ノ年額ヲ定ム

土地購入ニ付豫算更正ス

奥田理事ヨリ圖書館視察及圖書購入ノ件ニ付其經過ヲ報告ス

本山理事家事ノ都合ニ依リ郷里兵庫縣ニ移轉スヘキニ付理事辭退申

出タリ

十二日 旭川建設事務所長ヨリ東俱知安建設概要一部寄贈セラレ

本山理事辭任ニ付感謝狀並記念品贈呈ノ件決定ス

理事欠員ニ付之レカ補充トシテ現監事市村龜松氏ヲ理事ニ杉本勇治



氏ヲ監事ニ囑託スルコトニ内定ス

安西書記ノ月末手當支給ノ件決定ス

廿八日 小作米減免ノ件ニ付佐々木新重兩世話係來圖

十二月 五日 文部省學務局長及北海道廳長官へ育英事業調査ノ件回答ス

十一日 べーパン農場世話係年末手當ノ件確定ス

常務理事ノ年末手當ノ件確定ス

十三日 理事交迭登記申請ヲ旭川區裁判所へ提出ス

十五日 北海道廳長官へ本山理事辞任市村理事就任市村監事辞任ノ件報告ス

大正九年一月十日 當財團記念日ニ付儀式ヲ舉行ス

十一月 十一日 北海道廳長官へ杉本監事就任ノ件報告ス

十一月 廿五日 べーパン農場世話係ニ新重和三郎七澤彌與次郎ノ兩名ヲ指定ス

十七日 全山キ小作米賣却ノ件決定ス

廿五日 大正九年度ニ於テモベトパン農場ニ引續キ植樹ノ件決定ス

べーパン農場水害ノ爲メ本年ニ限り小作米ノ内幾分延納ヲ許可スル  
コトニ決定ス

二月 十一日 紀元節ニ付休業

二十日 文庫新築ニ關スル方針ヲ役員會ニ凝議ス

大正九年度出願給貸費生ノ狀況ヲ報告ス

元理事本山又彌氏ニ記念品トシテ純銀製湯沸一個發送ス

三月 十一日 大正九年度給貸費生採用選抜ノ件決定ス

大正九年度歳出歳入豫算計書ノ件附議確定ス



科目	目	前年度 豫算額	本年度 豫算額	附記
第三項 寄付金	第一目 寄付金	三〇〇〇	三〇〇〇	寄附金
	第四項 雜收入	七五〇〇〇	五〇〇〇〇	雜收入
	第一目 雜收入	七五〇〇〇	五〇〇〇〇	雜收入
	第五項 前年度繰越金	一四、〇〇〇〇〇	一三、〇〇〇〇〇	前年度繰越金
	第一目 前年度繰越金	一四、〇〇〇〇〇	一三、〇〇〇〇〇	前年度繰越金
第五項 借入金	第一目 借入金	二七、〇〇〇〇〇	—	
	第一目 借入金	二七、〇〇〇〇〇	—	
合計		六五、九六三〇〇〇	四八、六九二七〇〇	

歳出 (經常部)

科目	目	前年度 豫算額	本年度 豫算額	附記
第一項 學費	第一目 給費	五、〇〇〇〇〇	七、九〇〇〇〇	給費生二十二一人一人一ヶ月平均三十圓十二ヶ月分
	第二目 貸費	一、一〇〇〇〇	二、八〇〇〇〇	貸費生八一人一人一ヶ月平均三十圓十二ヶ月分
	第一目 雜給	五〇〇〇〇	七五〇〇〇	入修學旅費、支度料、醫藥料其他補助費
	第三項 圖書費	二、五〇〇〇〇	三、〇〇〇〇〇	圖書購入費
	第一目 圖書費	二、五〇〇〇〇	二、五〇〇〇〇	圖書購入費
第二目 新聞雜誌購入費	第一目 新聞雜誌購入費	—	五〇〇〇〇	新聞雜誌購入費
	第二目 新聞雜誌購入費	—	五〇〇〇〇	新聞雜誌購入費
第四項 事務所費	第一目 手當	一、〇〇〇〇〇	二、〇〇〇〇〇	役員其他手當
	第二目 給料	一、〇八〇〇〇	一、二〇〇〇〇	書記二名一人平均月俸五十圓十二ヶ月分
第三目 實費辨償	第一目 實費辨償	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	役員實費辨償
	第二目 實費辨償	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	役員實費辨償
第四目 旅費	第一目 旅費	一〇〇〇〇	二五〇〇〇	旅費
	第二目 旅費	一〇〇〇〇	二五〇〇〇	旅費
第五目 備人料	第一目 備人料	三三、一〇〇〇	三三、一〇〇〇	二百九十圓小使一名日給八十錢ノモノ三百六十日四十圓雜役人夫二十一人一人二圓
	第二目 備人料	三三、一〇〇〇	三三、一〇〇〇	二百九十圓小使一名日給八十錢ノモノ三百六十日四十圓雜役人夫二十一人一人二圓

六目	通信運搬費	四五〇〇〇	五〇〇〇〇〇	(三五千圓へ)バン農場小作米運搬五千圓
七目	印刷費	一五〇〇〇	二〇〇〇〇	(電話使用料)ケ年分九千圓郵便切手 事務概要其他印刷料
八目	備品費	一五〇〇〇	一五〇〇〇	器具費
九目	消耗品費	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	事務所、文庫各二百五十圓
十目	修繕費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	修繕費
十一目	會議費	二〇〇〇	二〇〇〇	茶菓其他
十二目	雜費	二〇〇〇〇	二五〇〇〇	農場世話係手當及旅費實費辦債學生募 集廣告料神社幣帛料其他
第五項	公課	八二〇〇〇	九二〇〇〇	
一目	諸稅	八〇〇〇〇	九〇〇〇〇	諸稅
二目	區町村組合費其他	二〇〇〇	二〇〇〇	區町村組合費其他
第六項	財產蓄積	四、三七七〇〇	四、二〇四〇〇	
一目	財產轉換金	二、三四〇〇〇	六〇〇〇〇	
二目	基本財産	一、九七〇〇〇	三、六〇四〇〇	財產收入ノ十分ノ一

第七項	特種積立金	五〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	
一目	特種積立金	五〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	特種積立金
第八項	記念祝祭費	一五〇〇〇	二〇〇〇〇	
一目	祝祭費	一五〇〇〇	二〇〇〇〇	祝祭費
第九項	豫備費	八七八〇〇	二、四二七〇〇	
一目	豫備費	八七八〇〇	二、四二七〇〇	豫備費
合計		二〇、三六一〇〇〇	二九、一七七〇〇	

歲出 (臨時部)

科目	前年度 豫算額	本年度 豫算額	附記
第一項 財產造成費	三〇、一〇一〇〇〇	一一、二二五〇〇〇	
一目 水田造成費	九〇〇〇〇〇	一、七五〇〇〇〇	水田造成五町步一反步三十五圓
二目 植樹費	一、〇〇〇〇〇〇	七二五〇〇〇	(三百五十圓苗木五千本ニ付七錢三百七十五圓植付其他)人夫百五十人一人二圓五十錢

三目	堤防修繕費	四、五〇〇〇〇〇	四、五〇〇〇〇〇	護岸三百間一間十五圓
四目	溜池築造費	三五一〇〇〇	六五〇〇〇〇	盛土五十坪一坪十三圓
目	畑新墾費	二、七〇〇〇〇〇		
目	排水溝堀整費	二五〇〇〇〇		
五目	灌溉溝改修費	三〇〇〇〇〇	三、三〇〇〇〇〇	別紙
六目	雜費	二〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	小破應急修理
七目	土地購入費	二〇、〇〇〇〇〇		
第二項	文庫新設費	七〇〇〇〇〇	八、三五〇〇〇〇	四千九百圓本館二十四坪五合木造二階建一坪二百圓、百圓便所一坪、百圓吹拔二坪一坪五十圓、二千二百五十圓書庫九坪一坪二百五十圓
第一目	文庫新築費	五〇〇〇〇〇	七、三五〇〇〇〇	
二目	文庫設備費	二〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇〇	設備費
第三項	寄附金	七〇〇〇〇〇		
第一目	寄付金	七〇〇〇〇〇		
第四項	借入金償還	一四、〇〇〇〇〇〇		

第一目	借入金償還	一四、〇〇〇〇〇〇	
合計	計	四五、六〇一〇〇〇	一九、五七五〇〇〇
總計	計	六五、九六二〇〇〇	四八、六九七〇〇〇

歲入第一項一目財產收入內譯

金額	算出基礎
三、〇〇〇〇〇〇	東旭川ペーバン農場水田小作米四百石一石三十圓
一〇〇〇〇〇	畑小作料
一、一〇一〇〇〇	十勝農場年賦金殘金七千三百四十五圓(年一割五分弱)
三、八八七〇〇	基本財産積立金二十二万八千三百八十七圓(年一割)
計三六、〇三九七〇〇	

歲出 臨時部 第一項 五目灌溉溝改修費內譯

新灌溉溝用渡樋	二百三十七間	間口	五圓	壹千八百八十五圓
同 水踏堀鑿	五百九十四間	同	一圓	五百九十四圓
計				壹千七百七十九圓

ペーバン川灌溉溝入口	切土	百五十間	間口	六圓	九百圓
同 前後柵		十間			百四圓
同 水門		一ヶ所			百五十圓
同 三田裏					百五十圓
倉沼川 同取入口	第二				二百圓
同 第一渡樋					十七圓
計					壹千五百二十一圓

### 大正九年事業計畫概要

#### 給貸費生

本財團設立以來引續養成中ノ給貸費生及大正九年度應募者ヲ合スルトキハ其數三十名ニシテ現今ノ豫定ニヨレハ中學程度一名、各種專門學校二十名、高等學校七名、大學二名ニシテ今後確定ニ至ルマテ尙多少ノ變動ハ免レサランモ而カモ其大体ニ於テハ大差ナキモノト認ム而シテ給貸費額ハ物價ノ騰貴ニ伴ヒ規定ノ額ヲ以テシテ如何トモ方法ヲ立ツル能ハサルカ故ニ本年度ニ於テノ平均月額三十圓ト計上シ以テ實際所要額ト大差ナキヲ期シタリ

#### 農場經營

十勝農場ハ大正八年四月製糖會社ニ其過半ヲ賣却シタルヲ以テ既往ノ方針ヲ一變シ農場經營ハ專ラペーバンニ注ク事トセリ隨テ十勝ニ對スル豫算ハ一モ計上セズ  
 ペーバン農場ハペーバン倉沼ノ兩川年々河水氾濫被害少ナカラス隨テ之レカ護岸堤防等ニ多大ノ經費ヲ要スルヲ以別紙ニ其大要ヲ掲ケ豫算計上セリ抑モ本農場ハ其殆ント全部水田

ナルカ故ニ灌溉ニ要スル費用又多ク修繕ニ費ス金額モ相當ニ上ルヲ以之レ又別紙ニ豫算セリ而シテ山ノ上荒蕪地ヲ水田ニ造成シ同時ニ其灌溉溝ヲ新設ノ費用ハ昨年度ノ繼續事業トシテ併セテ之ヲ見積タリペーバン附近ニ於テ水田ニ適スル農耕地七町歩ヲ買得シタルヲ以テ從來ノ面積ニ比スルトキハ漸次擴大シツ、アリ

植樹事業ノ計畫ハ本年モ引續實施セントスルカ故ニ其方法別紙ヲ以説明セリ

## 文 庫

本文庫ハ大正八年度ニ於テ新築ノ計畫ヲ爲シタルニ偶マ其敷地ニ充當スヘキ區有地ニ使用上ノ支障ヲ來シタルヨリ建築スルニ到ラス而シテ一方ニ於テ各地圖書館調査ノ結果尙慎重考慮ヲ要スルモノアルヲ以テ本館建築事業擴張ハ暫ク數年ノ後トナシ差向必要ノ閱覽室及書庫ハ現在事務所ノ傍ニ建築シ以テ一般閱覽者ノ利便ニ供スルノ見込ヲ以テ豫算ニ計上セリ其大要別紙ニ記載ス

### 一 水田造成

昨年着手シタル灌溉溝進捗ニ伴ヒ本年ハ約五町歩ヲ造成シ漸次其目的ヲ遂行スル見込

### 一 植 樹

前年度ニ於テ植樹シタル獨乙ト一ヒ獨乙松ハ挿植當時ヨリ數十日間降雨ナク爲ニ土地乾燥甚シク遂ニ過半枯死シタルノミナラス前々年財團設立以前下村氏ニ於テ植栽シタル落葉松ハ昨年野火ノ爲メニ之亦過半焼失スルニ至リタルヲ以テ本年度ニ於テハ昨秋上川營林區署ヨリ交付ヲ受ケタル落葉松苗木三千本ニ更ニ五千本ヲ購入シ合セテ八千本ヲ補植シ以テ植樹ヲ完フスルノ計畫ナリ

### 一 堤 防

堤防及護岸ニ付テハ相當防備ヲ爲シツ、アリト雖モ昨年一昨年ノ兩年ハペーバン倉沼兩川ノ出水最モ甚シク爲メニ崩壞欠潰セル箇所多ク爲メニ従前ノ苦心モ其跡ヲ止メサルノ被害ヲ蒙リ從テ收穫ニ減少ヲ來シ事体容易ナラサルニ付之レニ對スル復舊工事ハ最モ完全ヲ希望セルモ其工費多額ニ上リ財政ノ許サ、ルモノアルヲ以テ兩三年ハ毎年四千五百圓宛ノ支出ヲナシ漸次工ヲ起シ繼續的ニ其全部ヲ修理スルノ計畫ナリ

一溜池

三十四

從來ノ溜池ハ灌溉反別年々ノ増加ニ伴ヒ貯溜水ノ不足ヲ告ケ昨年度ニ於テモ多少ノ堤防築造ヲナシタルモ尙本年ニ於テモ約五十坪ノ盛土ヲ爲シ其水量ノ増加ヲ圖ル見込ナリ

一灌溉溝

當農場内山ノ上ニ於テ下村氏經營當時ヨリ約二十町歩ノ田地ヲ造成スルコトヲ計畫シツ、アリシヲ以テ昨年當財團ニ於テモ其ノ計畫ヲ踏襲シ從來ノ灌溉溝餘水ヲ引用スルコト、ナシ既ニ其ノ土工ノ過半ハ之ヲ完了シタルモ其殘餘及途中低地ノ箇所二十一鎖渡樋及道路下(暗渠)ニ架設スベキ渡樋及暗渠ハ未設ナルカ故ニ本年度事業ニ繰入レ之ヲ完成スルノ計畫ヲ樹タリ

倉沼川ペーバン川灌溉溝取入口ハ昨年出水ノ際土砂襲來ノ爲メ川床ニ變更ヲ來シ引水量ヲ減シタルニ付何レモ其上流ヨリ更ニ引水ノ計畫ヲナサントスルト同時ニ灌溉溝内浚渫スルノ必要アリ其浚渫ハ小作人ノ賦役トスルモ之レヨリ得タル土砂ノ運搬費用ヲ要スルヲ以テ之ヲ合セテ計上セリ

一文庫ノ新設

從來ノ閱覽室ハ舊下村氏ノ邸宅ヲ充用スル爲メ光線ノ按排等ニ於テ欠点不尠依テ昨年度新築ノ計畫ナリシモ敷地候補ノ區有地使用ニ故障ヲ生シタルヨリ不得止事業ヲ中止ノ折柄奥田理事東京仙臺秋田地方ノ圖書館ヲ視察シタルニ其敷地建築方法設備圖書ノ取扱等ニ付テハ何レモ多大ノ犠牲ト考慮ヲ費シ尙且ツ其完全ヲ期スル能ハサル實際ヲ目睹シ其事業ノ重大ニシテ輕々處理スヘキ問題ニアラサルヲ報告シタルヲ以當文庫モ其全成ニハ更ニ調査スヘキモノ不尠仍テ本館建築ハ尙兩三ヶ年ノ後トシ當分仮建築ヲ以テ從來ノ不便ヲ除キ財團ノ基礎ノ成ルト共ニ本建築ノ計畫ナリ



下村育英財團大正八年度歲入歲出總決算

歲入  
一金貳拾五萬貳千九百拾圓貳錢

歲出

一金貳拾壹萬七千參百九拾九圓七錢 經常部  
一金貳萬五千五百七拾六圓貳拾五錢 臨事部

合計金貳拾四萬貳千九百七拾五圓參拾貳錢

差引金九千九百參拾四圓七拾錢 翌年度繰越

下村育英財團大正八年度歲入歲出決算

科目	決算額	豫算額	比	較	事由
第一項 財產收入	二四、〇七〇七三〇	二一、八六九〇〇〇	二、二〇一七三〇		
一目 財產收入	二四、〇七〇七三〇	二一、八六九〇〇〇	二、二〇一七三〇		
第二項 財產轉換收入	二〇八、三〇〇二八〇	二、三四〇〇〇〇	二〇五、九六〇二八〇		十勝農場賣却代金 收入アリシニ因ル
一目 財產轉換收入	二〇八、三〇〇二八〇	二、三四〇〇〇〇	二〇五、九六〇二八〇		
第三項 寄付金		三〇〇〇		三〇〇〇	
一目 寄付金		三〇〇〇		三〇〇〇	
第四項 雜收入	一、九九八二八〇	七五〇〇〇〇	一、二四八四八〇		
一目 雜收入	一、九九八二八〇	七五〇〇〇〇	一、二四八四八〇		
合計	二六、〇六九〇一〇	二六、〇六九〇一〇			

科目	第一項	第二項	第三項	第四項	第五項	第六項	第七項	第八項	第九項			
雜給	圖書費	圖書費	事務所費	手當	給料	實費辦償	旅費	備人料	通搬費	印刷費	備品費	消耗品費
決算額	二,一七二,九〇〇	二,一七二,九〇〇	三,五四八,八八〇	一,五六四,八六〇	七四二,〇〇〇	三三三,一五〇	一一二,〇〇〇	四六二,〇〇〇	一四九,三七〇	六六一,〇〇〇	一一五,七六〇	一六九,八九〇
豫算額	二,五〇〇,〇〇〇	二,五〇〇,〇〇〇	四,五八六,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	三三二,〇〇〇	四五四,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇
比				五六四八六〇								
較			一,〇七三,一〇〇			一七六,八五〇		二八五,八〇〇	三〇四,六三〇	八三,九〇〇	三四,二四〇	三三〇,一一〇
事由												

科目	第一項	第二項	合計
學費	雜給	雜給	雜給
決算額	四,八六三,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	五,二七四,〇〇〇
豫算額	六,〇一〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
比			二七四〇〇〇
較	一,一四七,〇〇〇	一,一九〇,〇〇〇	六七,〇〇〇
事由			

科目	第一項	第二項	合計
前年度	前年度	前年度	前年度
決算額	一五,八六七,七〇〇	一五,八六七,七〇〇	二五,九二〇,二一〇
豫算額	一四,〇〇〇,〇〇〇	一四,〇〇〇,〇〇〇	六五,九六二,〇〇〇
比	一,八六七,七〇〇	一,八六七,七〇〇	
較			二四,三六七,四〇〇
事由			

歲出

(經常部)



合	第一目	第二目	第三項	第四項	第一目	第二項	九目	八目	七目	六目	
計	償借入還金	費文庫設備	寄付金	償借入還金	寄付金	費文庫新築	費文庫新設	費土地購入	雜修費	灌漑溝費	排水溝費
二五、三六、二五〇	五、三三、二六〇	一〇〇〇	六五〇	五、三三、二六〇	六五〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一四、五三、八〇〇	二六、九八〇	九八、六三、四〇〇	一
四五、六〇、一〇〇〇	一四、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	一四、〇〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
										六八、六三、四〇〇	
	八、六六、七四〇	四九〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	八、六六、七四〇	六九三、五〇〇	六九三、五〇〇	五、四六、二〇〇	一七三、〇一〇			二五〇、〇〇〇

財產目錄  
土地建物

所	在	地	種類	坪數又別	價格
旭川區五條通六丁目右三、四、五號	全	土地宅地	建物平家藏	四五坪二五八、七五	一、五〇〇、〇〇
全	全	土地宅地	全	一六一、〇〇	
全	全	土地宅地	全	一六一、〇〇	
全	全	水田	全	六七、〇〇	六、二五〇、〇〇
全	全	畑	全	八〇、〇〇〇〇	八九、〇〇〇、〇〇
東旭川村字ペーパン	全	全	全	三、七一〇七	六、一〇〇、〇〇
全	全	全	全	三、五〇〇〇	七、三〇〇、〇〇

總計 二四、九三、三〇〇 六五、九六、一〇〇

全	六百五番地	全	三、五〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇
	六百六番地	全	一三、七〇〇四	
全	十勝國河西郡大正村大字賣買村字上賣買	全	八、五三三、六六	二五、七八三、六六
合計				

四十四

金 穀

- 一金貳拾貳萬貳千百六拾參圓五拾四錢
- 一玄米參百拾壹石貳斗七舛

基本財産積立金

時價 金壹萬二千四百五拾圓八錢

一石ニ付金四拾圓ノ割

圖書什器

- 一金參千九拾八圓六拾錢
- 一金九百九拾壹圓九拾壹錢

圖書什器

總計 金參拾六萬四千四百八拾七圓七拾九錢

貸借對照表

財産目錄ト全一二付略ス

財團 下村育英財團寄附行爲

第壹章 總 則

第壹條 北海道旭川區五條通六丁目左四號下村長藏ハ生前處分ニ因ル寄附行爲ヲ以テ別紙

ノ土地及建物ヲ寄附シ此規定ニ依リ下村育英財團ヲ設立ス

第貳條 本財團ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

一、青年有爲ノ學生ニ學資ヲ給與又ハ貸與シ國家有用ノ材ヲ養成スルコト

二、下村文庫ヲ設ケ公衆ニ縱覽セシメ智識ノ啓發ニ資スルコト

第參條 本財團ハ法人トシ下村育英財團ト稱ス

第四條 本財團ハ事務所ヲ北海道旭川區五條通六丁目左三、四號ニ置ク

第五條 本財團ノ存立期間ハ之レヲ永久トス

第六條 第貳條第壹項ノ目的ヲ達スルノ方法タル被給與者及被貸與者選拔竝ニ懲戒若シク

ハ給與貸與停止ニ關スル事項及給與貸與ノ方法等ハ別ニ細則ヲ以テ之レヲ定ム

同條第貳項ニ就テモ亦同ジ

第貳章 資 産

第七條 本財團ノ資産ハ第壹條ノ土地建物及之レヨリ生スル果實並ニ第拾四條第壹號乃至

第參號資金ヲ以テ組織ス

第八條 本財團ノ資産ハ別ニ細則ヲ設ケ理事之レヲ管理ス

第九條 本財團ノ資産ヲ分ツテ基本財産及普通財産ノ二種トス

第拾條 基本財産ハ果實ノ外如何ナル事由アルモ之レヲ處分スルヲ得ズ

第拾壹條 第七條ノ財産中別紙ノ土地建物ヲ基本財産トス

第拾貳條 普通財産ハ理事ノ決議ニ依リ設立者ノ同意ヲ得テ之レヲ處分スルコトヲ得

第拾參條 前條ノ處分ニ依リ得タル資金ハ不動産若シクハ國債、地方債、證券又ハ特別ノ

法令ニ依リ設立サレタル會社ノ株券、債券ニ換ヘ基本財産ニ編入スルモノトス

第拾四條 左記各號ノ資金ハ前條ニ準シ基本財産ニ組入ル、モノトス

但都合ニ依リ一時現金ト爲シ保管スルコトヲ得

一、毎年度決算期ニ於テ財産ヨリ生セシ収益ノ百分ノ拾以上  
 二、有志者ノ寄附金  
 三、被貸與者ヨリ返還シタル資金  
 第拾五條 財産ヨリ生セシ収益ヨリ前條第壹號ノ金額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ第二條ノ目的ニ充ツル資金トス

### 第三章 役員

第拾六條 本財團ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 五 名 内壹名ヲ理事長、壹名ヲ常務理事トス  
 監事 參 名

第拾七條 理事及監事ハ設立者之レヲ任免ス

條拾八條 設立者死亡又ハ意思ヲ表示スル能ハサルトキハ役員ノ任免ハ理事長之レヲ爲ス

但理事ハ理事ノ決議ニ因リ監事ハ監事ノ決議ニ因ル

第拾九條 理事長及常務理事ハ理事ノ互選ニ因リ之レヲ定ム其任期ハ三ケ年トス

但再選ヲ妨ケス

第貳拾條 理事長ハ本財團ヲ代表シ且ツ一切ノ事務ヲ總理シ會議ノ議長トナル理事長事故

アルトキハ理事ノ互選ニ依リ代理者ヲ定ム

第貳拾壹條 理事ハ理事長ヲ補佐シ一切ノ事務ヲ處理ス常務理事ハ日常ノ庶務及計算ヲ掌

ル

第貳拾貳條 監事ハ本財團一切ノ事務及計算ヲ監査ス

第貳拾參條 本財團ニ相談役若干名ヲ置ク

第貳拾四條 左ニ掲ケタル事項ニ付キテハ理事全員ノ同意アルコトヲ要ス

一、寄附行爲ノ變更

一、諸規程ノ改正

第貳拾五條 常務ニアラサル理事及監事ハ無報酬トス

但職務ノ爲メニ要シタル實費ハ之レヲ支給ス

第貳拾六條 常務理事ノ報酬ハ理事ノ決議ニ依リ之レヲ定ム

### 第四章 計算

第貳拾七條

本財團ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル  
但大正七年度ハ設立ノ日ヨリ大正八年三月三十一日迄トス

第貳拾八條

理事ハ毎年二月末日迄テニ翌年度事業計畫書及收支豫算書ヲ調製スルコトヲ  
要ス

第貳拾九條

理事ハ年度ノ終リヨリ貳週間内ニ左ノ書類ヲ調製シ設立者及監事ニ提出シテ  
其承認ヲ得ルコトヲ要ス

財産目錄、貸借對照表、收支決算書、事務報告書

第參拾條

監事ハ前條ノ書類ヲ調査シ設立者ニ其意見ヲ報告スヘシ  
但設立者死亡又ハ意思ヲ表示スル能ハサル場合ハ役員及相談役ニ其意見ヲ報  
告スヘシ

### 附 則

第參拾壹條

本財團設立者ノ特志ヲ記念スル爲メ設立者生前ニ於テハ其誕生日(正月拾日)

死後ニ於テハ死亡ノ日ヲ以テ記念日トシ儀式ヲ舉行スルモノトス

第參拾貳條

寄附行爲ヲ變更シタルトキハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其效力ヲ生  
セス第六條及第八條ノ細則ヲ設ケタルトキハ主務官廳ニ報告スルモノトス

北海道旭川區五條通六丁目左四號

平民農

大正七年二月十一日

下 村 長 藏

(別紙)

### 寄 附 財 産

北海道旭川區所在

一、宅 地

七戸半

此坪數 壹千貳百壹坪

一、木造亞鉛板葺平家

壹 棟

此坪數 四拾五坪貳合九勺

一、土藏

壹 棟

此坪數 八坪七合五勺

北海道上川郡東旭川村所在

北海道河西郡大正村所在

同 上 芽室村所在

一、田

八拾町步

一、畑 參拾壹町七反壹畝七步

以 上

一、牧場

千八百貳拾九町四畝貳步

寄附當時ノ時價 金貳拾四萬八千參百五拾圓也



財團 下村育英財團附屬規程

第壹章 總 則

第壹條 本財團寄附行為施行ニ關スル事項ハ本規程ニ依ルモノトス

第二章 選 拔 規 程

第貳條 本財團ニ於テ學資ヲ給與又ハ貸與スル學生ハ左記ノ區域順序ニヨリ之ヲ募集ス

- 一、旭 川 區
- 二、上川支應管内
- 三、北海道一圓(旭川區上川支應管内ヲ除ク)
- 四、前各號以外ノ地方

第參條 毎年募集セントスル人員ハ理事會ニ於テ之ヲ豫定シ新聞紙ヲ以テ廣告ス

第四條 本財團ニ於テ修學セシムル者ハ中學校卒業若クハ之レト同等以上ノ資格アルモノニ限ル

但前項ノ資格ヲ具備セサルモ理事會ノ決議ニヨリ特ニ修學セシムルコトアルヘシ  
第五條 學資ノ給與又ハ貸與ヲ受ケントスル者ハ身體強壯、品行方正、學術優等ヲ證明スルニ足ル左記書類ヲ添へ本財團宛申込ミ其承認ヲ受クヘシ

一、履 歷 書

一、在學中各學年修了又ハ卒業ノ各科平均點ヲ記載シタル當該校長ノ證明書

一、身體各部ノ機能具備シ且健全ナル事ヲ認ムルニ足ル醫師ノ證明書

一、保護者ノ家計狀態ヲ知悉シ得ヘキ市、區、町、村長ノ調査證明書

一、戶籍謄本

一、保護者ノ同意書

一、入學セントスル學校名及其學科

一、寫眞(申込ノ月ヨリ三ヶ月以内ニ撮影シタルモノニシテ脱帽ニ限ル)

第六條 申込者豫定以上ニ達シタル場合ハ選抜試験ヲ行フ

試験ノ方法其他銓衡及承認ニ關シ申込者ハ一切異議ヲ唱フルヲ得ス

第七條 承認確定シタル時ハ其旨直ニ通知ス

第八條 本財團ニ於テ修學ヲ承認シ豫定ノ學校ニ入學シタルモノハ別ニ定ムル規程ニ依リ學資ヲ給與又ハ貸與ス

第九條 學資ヲ受クルモノハ本財團ヨリ指示スル事項ヲ遵守スルノ義務アルモノトス但卒業後ニ於テハ何等ノ羈束ヲ受クル事ナシ

第十條 學生ニシテ學術、素行不良若クハ其体面ヲ汚損スルノ行爲アル時ハ各其事由ニ隨ヒ承認ヲ取消シ或ハ給費貸費ヲ停止又ハ減額スルコトアルヘシ

### 第參章 學資給與及貸與規程

第十壹條 本財團ノ承認シタル學生ハ其就學中別表ニ依リ學費ヲ支給ス

第十貳條 入學確定者ニハ入學ノ時ニ限り現任地ヨリ所屬學校マテノ旅費及仕度料ヲ實費ヲ以テ支給ス

第十參條 在學中疾病ニ罹リ特ニ診療ヲ要スル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ヘシ此場合ハ疾病ノ輕重ニ因リ醫藥料其他所要ノ金額ヲ支給ス

第十肆條 所屬學校ノ主催ニ係ル遠足又ハ修學旅行等ノ場合ニ於テ特ニ必要ノ經費ヲ要スルトキハ校長ノ證明書ヲ添ヘ其旨願出ヘシ、相當ト認ムルトキハ特ニ補助ヲ爲スコトアルヘシ

第十伍條 左記該當ノ場合ニハ一時學資ノ支給ヲ減額スルコトアルヘシ

- 一、家事ノ都合ニヨリ一ヶ月以上歸省シタルトキ
- 但父母ノ不幸ニ會シタル場合ハ此限リニアラス

- 二、學術、操行不良ノ爲メ停學ヲ命セラレ謹慎中ニ屬スル期間

第十陸條 左記該當ノ場合ニハ學資ノ支給ヲ中止ス

- 一、疾病ニヨリ一ヶ月以上入院シ其入院料藥價等ヲ本財團支辨シタルトキ
- 二、校規ニ反シ若クハ操行不良ノ爲メ懲戒處分ヲ受ケタルトキ
- 但情狀重キ場合ニ限ル

第十柒條 左記該當ノ場合ニハ學資ノ支給ヲ廢止ス

- 一、學術劣等操行不良ノ爲メ所屬學校ヨリ退學ヲ命セラレタルトキ

- 二、本財團ノ旨趣ニ反シ其体面ヲ汚損スルノ行爲アリタルトキ
  - 三、法規ニ違反シ訓戒セラル、モ改悛ノ見込ナキトキ
  - 四、不治ノ疾患ニ罹リ卒業見込ナキトキ
  - 五、本財團ニ於テ給與、貸與學生タル承認ヲ取消シタルトキ
- 第拾八條 給與貸與ニ關スル方法及其手續ハ理事會ニ於テ決定ス

### 第四章 文庫規程

- 第拾九條 下村文庫ハ廣ク内外ノ典籍ヲ蒐集シ公衆ノ閱覽ニ供スルモノトス
- 第貳拾條 圖書ノ閱覽時限ハ左記休日ヲ除クノ外毎日午前九時ヨリ日没迄トス
- 一、紀元節、天長節、祝日
  - 二、本財團紀念日
  - 三、館内掃除日 毎月五日
  - 四、曝書日 八月中十日間
  - 五、~~年~~年始 十二月二十八日ヨリ翌年一月五日迄

右ノ外臨時休館ノ必要アルトキハ館前ニ揭示ス

### 第貳拾壹條

左記ノモノハ入場ヲ禁ス

- 一、十歳未満ノ兒童
- 二、酒氣ヲ帶ヒタル者
- 三、風紀ヲ害スル虞アリト認ムルモノ
- 四、靜肅ヲ破ルノ行爲ヲナスモノト認ムルモノ

### 第貳拾貳條

左記ノモノハ退場ヲ命ス且ツ將來入場ヲ停止スルコトアルヘシ

- 一、本規程ニ違背シタルモノ
- 二、館内取締人ノ指揮ニ従ハサルモノ

### 第貳拾參條

圖書ハ官公署及學校ノ請求ニ係ル外館外ニ携出スルヲ許サス  
但シ特別ノ場合相當ノ方法ヲ以テ特ニ之レヲ許スコトアルヘシ

### 第貳拾四條

圖書ヲ寄贈セントスルモノハ本財團理事ノ意見ニ依リ之レヲ受クルコトアル  
ヘシ

第貳拾五條 本規程施行ニ關シ必要アルトキハ別ニ細則ヲ設クルコトヲ得

### 第五章 財産保管規程

第貳拾六條 本財團ノ財産ハ本規程ニ依リ之レヲ管理ス

第貳拾七條 本財團直接供用以外ノ不動産ハ之レヲ賃貸スルモノトス  
但賃貸ノ方法ハ別ニ細則ヲ以テ之レヲ定ム

第貳拾八條 現金ハ確實ナル銀行又ハ會社ニ預託スモノトス

第貳拾九條 有價證券ハ遞信省又ハ確實ナル銀行ニ預託スルモノトス

別表

中學校 各種專門 高等學校	年					備考
	一	二	三	四	五	
一五〇〇〇	一五〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	一八〇〇〇	同	物價ノ高下ニヨリ増減スルコトアルヘシ
一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二五〇〇〇	二五〇〇〇	二五〇〇〇	同	
二五〇〇〇	二五〇〇〇	三〇〇〇〇	—	—	同	

大學 師範學校 陸海軍 諸學校	年					備考
	一	二	三	四	五	
三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三五〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	—	—	同 當該學校ノ所定ニ基 キ支給ス
—	—	—	—	—	—	

前記學校以外ニシテ表記ニ該當セサルトキハ本表ニ準シ其支給額ヲ定ム

### 別途積立金規定

- 第一條 本財團ニ別途積立金ヲ設ケ其金額ハ毎年豫算ニ計上蓄積スルモノトス
- 第二條 本積立金ハ左記各號ノ一該ルトキ之レヲ支出スルモノトス
  - 一、本財團設立者ノ養老ニ必要ヲ生シタル場合
  - 二、設立者ノ配偶者ニ贈與ノ必要ヲ生シタル場合
  - 三、設立者ニ對シ謝恩ノ事項ヲ企畫シタル場合
  - 四、設立者ノ意見ニ基キ事業若クハ其他ノ事項ヲ遂行スル場合
- 第三條 前條各號ノ支出ハ理事全部ノ同意ヲ要ス
- 第四條 本積立金ハ其支出ノ必要ナキニ至リタルトキ財團ニ歸屬スルモノトス
- 第五條 本積立金ハ特別ニ整理シ常務理事之ヲ管理ス
- 第六條 管理ノ方法及本規定付隨ノ細目ハ理事會ノ決議ニ據ル
- 第七條 本規定ハ大正八年十月(下半年)ヨリ實施ス

#### 附 則

### 下村文庫細則

- 第一項 文庫ノ閲覽時限左ノ如シ
  - 自四月一日至九月三十日 午前八時ヨリ午後六時マテ
  - 自十月一日至三月卅一日 午前九時ヨリ午後四時マテ
- 第二項 文庫内ニ於テ圖書ヲ閲覽セントスル者ハ受付ニ於テ閲覽票ヲ申受ケ所定ノ事項ヲ記入シ係員ヨリ圖書ヲ借受ヲ爲シ退場ノキハ必ス返納スヘシ
  - 新聞雜誌ノ縦覽者ハ受付ニ於テ縦覽票ヲ申受ケ之ニ所要ノ事項ヲ記入シ係員ニ提出ノ上閲覽スヘシ
- 第三項 貸付ノ圖書ハ同時ニ二種以内トシ和裝ハ六冊洋裝ハ三冊トシ和洋裝併セテ四冊ヲ限度トス
  - 但特別ノ事情アルモノハ其都度申出承認ヲ得テ閲覽スルモノトス
- 第四項 縦覽及閲覽者ハ左ノ事項ヲ守ルヘシ

- 一、默讀靜肅ヲ旨トシ喫煙喧騒等ノ行爲アルヘカラス
  - 二、室内備付ノ物品及圖書類ハ凡テ丁寧ニ取扱ヒ樂書汚損又ハ破毀スヘカラス
- 第五項 借覽ノ圖書類ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ本文庫ノ指示スル處ニヨリ現品又ハ相當代價ヲ賠償スルモノトス
- 第六項 圖書ノ携出閱覽ハ當分取扱ハス
- 第七項 圖書ヲ寄贈セントスルモノハ其書名員數價格及住所氏名ヲ記載シタル書面ヲ差出シ其承認ヲ得テ現品ヲ送致スルモノトス
- 但文庫ヨリ寄贈ヲ申込タル場合ハ此限ニアラス
- 第八項 寄贈ヲ受ケタル圖書ニハ寄贈者ノ氏名年月ヲ標記シ其好意ヲ永遠ニ傳フルモノトス

北海道旭川區五條通六丁目

財團 下村育英財團

財團 下村育英財團役員 (大正九年七月一日現在)

理事	井	内	歡	二
同	原	琢	磨	
同	奥	田	千	春
同	市	村	龜	松
監事	笠	原	定	藏
同	下	村	正	之
同	杉	本	勇	治
相談役	市	來	源	一
同	東	郷	重	清
同	小	川	幸	太
同	大	谷	岩	太
同				郎

289  
4

同 同 同 同 同 同

川 松 小 上 荒 姉  
村 本 林 田 井 齒  
文 彌 直 守 初 正  
平 郎 郎 三 藏 一 雄

終

